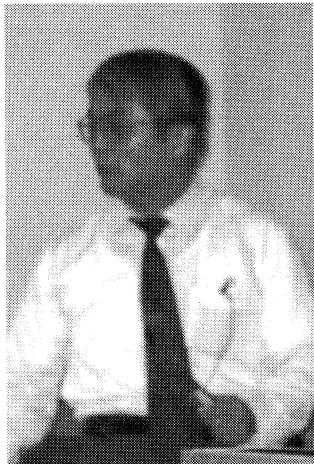


アカウント型商品テーマに

アカラックス セミナーを開催



坂本社長

アカラックス(株)は11月7日、東京・神田のANJOインターナショナルにて第6回セミナーを開催した。講師は坂本嘉輝社長。

複雑な商品の仕組みを分かりやすく解説

今話題のアカウント型商品とユニバーサル保険商品の複雑な仕組みを分かりやすく説明した。当日は、FPや保険代理店など約30人が参加し、熱心に話に聞き入った。

セミナーでは、生損保8社のアカウント型保険とユニバーサル保険を具体的に説明した。対象となったのは、明治生命「ライフ・アカウント」、住友生命「ラトル・A」、住友生命「ライオン」の3社。また、アカラックスは、各商品の約款をすべて読み下し、独自に分析した上で、主契約部分や特約部分の特徴などを詳しく解説した。また、アカウント部分の払い込み保険料と解約返戻金の各商品での違いなども検証した。

アカラックスは、各商品の約款をすべて読み下し、独自に分析した上で、主契約部分や特約部分の特徴などを詳しく解説した。また、アカウント部分の払い込み保険料と解約返戻金の各商品での違いなども検証した。

アカラックスは、各商品の約款をすべて読み下し、独自に分析した上で、主契約部分や特約部分の特徴などを詳しく解説した。また、アカウント部分の払い込み保険料と解約返戻金の各商品での違いなども検証した。

・ベクトル」朝日生命「保険主」、第二生命「堂々人生」、東京海上「超保険」、アリコジャパン「ISユニバーサル保険」、スカンディア生命「投資型ユニバーサル保険」の8商品。

坂本氏は、各商品の約款をすべて読み下し、独自に分析した上で、主契約部分や特約部分の特徴などを詳しく解説した。また、アカウント部分の払い込み保険料と解約返戻金の各商品での違いなども検証した。

アカラックスは、各商品の約款をすべて読み下し、独自に分析した上で、主契約部分や特約部分の特徴などを詳しく解説した。また、アカウント部分の払い込み保険料と解約返戻金の各商品での違いなども検証した。

取り上げて、それぞれの仕組みを図や表を駆使して説明。商品コンセプトは類似しながら、機能の実現の仕方がさまざまになっている。その違いを明らかにした。対象となったのは、明治生命「ライフ・アカウント」、住友生命「ラトル・A」、住友生命「ライオン」の3社。また、アカラックスは、各商品の約款をすべて読み下し、独自に分析した上で、主契約部分や特約部分の特徴などを詳しく解説した。また、アカウント部分の払い込み保険料と解約返戻金の各商品での違いなども検証した。

アカラックスは、各商品の約款をすべて読み下し、独自に分析した上で、主契約部分や特約部分の特徴などを詳しく解説した。また、アカウント部分の払い込み保険料と解約返戻金の各商品での違いなども検証した。

アカラックスは、各商品の約款をすべて読み下し、独自に分析した上で、主契約部分や特約部分の特徴などを詳しく解説した。また、アカウント部分の払い込み保険料と解約返戻金の各商品での違いなども検証した。

自由自在、契約の一本化、出し入れ自由の積立口座、何でもありの柔軟性、ほかの契約・ほかの保険会社の契約の保険料支払い、保険コストの評価、保障プラス積立か保障を含む積立か、コスト開示のインパクトなどを挙げ、それぞれに内在する問題点を指摘。アカウント型商品は使い方が難しい商品であるとし、一般の人が自分で判断して加入するには高度な商品で、それを使いこなす、適切なアドバイスができる保険代理店などのプロの存在が欠かせないと強調した。